



## 診療科紹介 「胸部外科」

現在、胸部外科では呼吸器外科専門医2人体制をとっており、肺がん、気胸を中心に縦隔腫瘍、膿胸、手掌多汗症などの手術も行っています。

また、石綿関連の患者も多く、胸腔鏡下胸膜生検を多く施行しています。

## 呼吸器外科領域の最近のトピックス

### 肺がん手術のアプローチについて

肺がん手術の低侵襲化はますます進んでおり、当院でも患者の状態や術式に応じて、単孔式の手術（3-4cm程度の傷が1か所）も行っており、また、Da Vinciを用いたロボット支援下手術の準備も進めています。



### 2cm以下の末梢型小型肺癌に対して、区域切除も推奨に

肺癌診療ガイドライン上、標準術式として肺葉切除が推奨されてきましたが、日本の大規模臨床試（JCOG0802/WJOG4607L）の結果から、2cm以下の末梢型小型肺癌に対してこれまでの肺葉切除だけでなく、区域切除も肺癌診療ガイドラインで推奨されるようになりました。肺葉切除に比べ区域切除では切除範囲が4分の1から2分の1程度となりますので、その意味は大きいと思います。当院でもステージや腫瘍の位置を検討し、区域切除を施行しており、全国的に区域切除の割合は増加しています。

### 高齢者の肺がん手術



「人生100年時代」とも言われますが、全国規模の調査でも肺がん手術を受ける方の約15%が80歳以上です。岡山南部地域ではこの傾向は顕著で、肺がん手術を受ける**3割前後の方が80歳以上**となってきました。

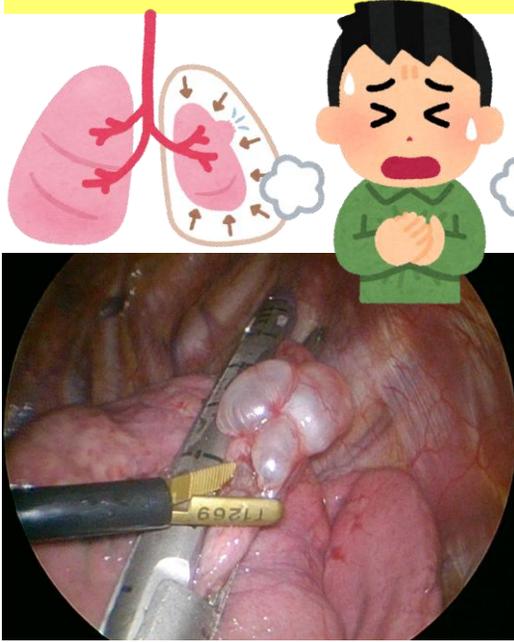
手術適応を決める上で呼吸機能検査なども大事ですが、当科の外来では患者ごとにじっくり日常の生活状況をお聞きし、手術を受けて頂くかを提案しています。手術後も胸腔ドレーンが抜けたあとも、患者の状態に応じて長めにリハビリ期間を設けるなど高齢者にやさしい診療をおこなっています。

肺がん手術は不適と判断した場合でも、放射線治療を提案できることが少なくありませんので治療の手段は残されています。高齢の患者だからと遠慮せずにご紹介頂ければと思います。

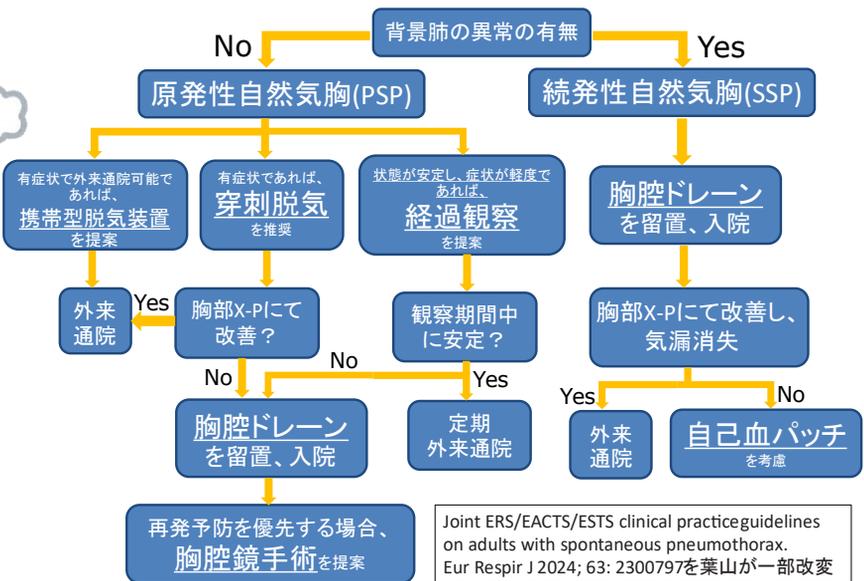
**火曜日午前（難波）・金曜日午前（葉山）に胸部外科の外来診療を行っています。お急ぎの際は、その他の時間でも対応可能な場合がありますので、お問い合わせください。**

# 自然気胸ガイドラインの改訂

欧州3学会（ERS/EACTS/ESTS）合同の自然気胸のガイドラインが一部改変され、原発性自然気胸（若いやせ型男性に多く、背景肺は正常）における気胸時の対応について、中等度以上の気胸であっても、患者の状態が落ち着いていれば、胸腔ドレナージでなく、まずは穿刺脱気や経過観察で対応することを推奨するようになっていました。当院でも穿刺脱気や経過観察の症例が増えてきていますが、バックアップ体制が不可欠です。当院は呼吸器外科専門医2人体制で診療しており、緊急時にも対応しやすくなっていますので、気胸患者でお困りのことがあれば、ご相談いただければと思います。



## 成人自然気胸の取り扱いについてのフローチャート



Joint ERS/EACTS/ESTS clinical practice guidelines on adults with spontaneous pneumothorax. Eur Respir J 2024; 63: 2300797を葉山が一部改変

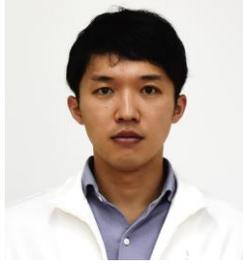
**部長：葉山 牧夫**  
(はやま まきお)

令和6年9月に胸部外科部長として着任。岡山大学を平成9年に卒業後、呼吸器外科医としては川崎医科大学、三豊総合病院（香川）、獨協医科大学（栃木）、岡山大学、岡山赤十字病院で診療。  
資格：呼吸器外科専門医、胸腔鏡安全技術認定医、呼吸器外科学会評議員、外科専門医・指導医、呼吸器内視鏡専門医、がん治療認定医



**副部長：難波 圭**  
(なんば けい)

岡山大学平成22年卒業。外科研修、基礎研修を経て、呼吸器外科医としては岡山大学、川崎医科大学、島根大学で勤務。  
資格：呼吸器外科専門医、外科専門医



### 【お問い合わせ先】

住所：〒702-8055 岡山市南区築港緑町1丁目10番25号  
TEL：(代表) 086-262-0131 FAX：086-263-2587  
E-mail：kansapo@okayamah.johas.go.jp  
担当：岡山労災病院 地域連携室